

## 2022年1月の行事予定表

1	土	元旦礼拝式・午前11時(参加自由)	16	日	礼拝式、教会学校
2	日	新年主日礼拝式	17	月	17-18日教団理事会
3	月		18	火	午後、年会評議会がZoomを中心に開催
4	火		19	水	
5	水		20	木	祈禱会
6	木		21	金	
7	金		22	土	
8	土		23	日	礼拝式
9	日	礼拝式、聖餐式、教会役員会	24	月	
10	月	地区牧師会、午後は地区協議会	25	火	
11	火		26	水	
12	水		27	木	
13	木		28	金	
14	金		29	土	
15	土		30	日	礼拝式
			31	月	

### 編集後記

- ◇ 1月号、久しぶりに「共に集まる」ことのできた教会の嬉しさがつたわったでしょうか？まだまだ出来ないことはありますが、出来ることの中から繋がる工夫をしています。
- ◇ 今、礼拝後に小グループでの祈り会を行っています。まだ先の見えない中にいますが、この祈りで繋がっていきたいですね。神様と兄弟姉妹に、そして教会の外にも。

# 教会月報

2022年1月

No.368

岡山ナザレン教会 月報編集委員会

## 過去・現在・未来

「主なる神は言われた。『人は我々の一人のように善悪を知る者となった。今は手を伸ばして命の木からも取って食べ、永遠に生きる者となるおそれがある。』主なる神は、彼をエデンの園から追い出し、彼に、自分がそこからとられた土を耕させることにされた。」創世記 3:22-23

新年あけましておめでとうございます。本年も主にあって、よろしくお願ひ申し上げます。

さて、私たちは日々、過去を経験しつつ現在を生き続けています。そして、やがて未来に向かって生きようとしています。

1265, 5, 30-1321, 9, 13 に生きた、イタリアの詩人ダンテを通して、今年の内々にいかに生きるべきかを自らに問う機会としたい。

ところで、ダンテの有名な作品「神曲」は、地獄編と煉獄編と天国編の3部構成となっています。当時の教会(カトリック教会が主でした)ではラテン語が用いられていましたが、ダンテはあえて一般市民が読めるイタリア語(トスカーナ方言)で書かれました。ダンテは「神曲」を通して宗教改革とルネサンスを目指していたと言われていています。

人間は創造主の手により作られましたが、善悪を知る者となったので、エデンの園から追放されます。今日のわれわれは、自分の意志で善悪を判断して生きています。ダンテは作品を通して、人間に警告しています。それは、自己保身しか頭にない者が、上の者に付度を働かせ、世の中全体を落下させていきます。現代でも差別やいじめがなくなりません。いじめをする者、いじめを受ける者、それを見て見ぬふりをする者の3者がいます。神曲は地獄、煉獄、そして天国へと旅します。私たちも、それぞれの人生を続けますが、現在をつなぐ、過去と未来を見渡していかにあるべきかを問い続けたいのです。

牧師 永松 清





クリスマス礼拝後



キャンドルサービス

12月24日の夜19:30には、キャンドルサービス(蜀火礼拝)が行われました。今年は理科大のクリスタルコールのメンバーも参加され、参加者計15名でのクリスマスイブの夜となりました。クリスマスキャロルも5曲賛美し、永松師から『主イエスの誕生』(ルカ福音書2:8-20)と題してメッセージが述べられ『ろうそくの灯火に自らの内面を問い直す夜にしましょう』と語られました。礼拝後は語らいの場も与えられ、満たされた本当に素敵な素敵な聖なる夜となりました。

クリスマス委員会の提案で、11月28日(日)朝9:30からCS生徒たちが集まりました。シールを貼る、色紙を切り抜く、色ペンで描く……。コロナ禍でしばらくCS休校でしたが、自作の葉書を眺めながら

**クリスマス・カードを出し合いました!**

「〇〇ちゃんに出そうかな」と、久しぶりにワイワイと楽しそうな声が集会室に響きました。おとな用には、三野恵子姉デザインのステキな葉書(上の6種)で、教会員が思い思いの人にクリスマス・メッセージを届けることができました。



**12月証し “右腕を骨折して”**

K. E. 姉

私が右手橈骨(とうこつ)を骨折したのは、農繁期を迎えて三日後、田んぼで長靴がすべって転んで手をついたのが原因である。10月20日のことだった。幸いなことに、痛みがあまり無かったので、そのまま湿布をして作業していた。が、だんだん痛みと腫れが出てきて整形外科へ。先生は「痛かったら、なんで早く来なんだん?」と。全治二か月の診断だった。すぐにギブス生活。五本指はなんとか動かすようにしてもらった。が、不自由な生活は然り、水道の蛇口、洗面、トイレ、字を書くことも出来ぬまま、スーパーのレシート等みるまにたまった。一週間は夢中で不自由さに慣れた。そして祈った。

『主を信じる者は、だれも失望することはない。』(ローマ10:11) 『希望をもって喜び、苦難をたえ忍び、たゆまず祈りなさい。』(ローマ12:12)

私の好きな聖句である。

今こそ現状を受入れ、出来ることをしようと思ったら心が軽くなり、周りの人らに甘えることにした。75歳を迎えた今、行動には注意しようと思う。お蔭様で皆に助けられ、農繁期を終えることが出来た。感謝である。そして、健康の有難さをつくづく思う。

このトラクターに乗っているおばあちゃんの証しはこちら

**入賞おめでとう**

「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展で、土水里ネット岡山会長賞をいただきました。普段のばあちゃんの頑張っている姿を表現しました。夏の暑い時期に、ペットの猫に邪魔されながら一生懸命に描いていました。東京都美術館で1週間だけ展示されるということで、たまたまコロナがいたので、急きょ東京に行くことになりました。本当に恵まれて無事に行くことができ感謝です。

A. Y. 姉



12月19日、今年もクリスマス礼拝の日がやってきました。今年も昨年同様コロナ禍の中でのクリスマス礼拝となり、午後の祝会や夜の食事会も中止となりましたが、礼拝には大人24名子供7名と久しぶりに多くの出席者が集い、賑やかなクリスマス礼拝となりました。こどもさんびかをCSのこども達と一緒に歌い、イエス様のご誕生を共に祝いました。メッセージ『主イエスの誕生』(ルカ福音書2:1-7)

**キャンドルサービス後の交わり**



**第二回教会交流会**



11月28日(日)礼拝後の45分間(11:30~12:15)、18名で6グループに分かれて、“コロナ禍で、岡山ナザレン教会はどのように進んでいったらよいか”をテーマに自由に意見を出し合いました。実にさまざまな思い、意見、アイデアが出され、議事録は教会員へ配信され、教会掲示板でも読むことができます。今後も、年に数回実施して皆で祈りつつ話し合いつつ、共に教会を建て上げてまいりましょう。